作業に入る前に – 必ずこの説明書をよく読み、可能であれば解説動画を観て下さい

本製品はオフロード競技専用です

取付に必要なもの：

- ☐ 新品もしくはほぼ未使用のタイヤ
- ☐ ドリル及び11mmの金属用ドリルビット
- ☐ サンドペーパーおよび面取り工具
- ☐ タイヤレバー3本
- ☐ バルブコアドライバー（タイヤバルブのムシ外し）
- ☐ シリコンスプレーもしくはビードクリーム
- ☐ スプレーボトルに詰めた石鹸水（家庭用の中性洗剤などを希釈したもの）
- ☐ 14mmロングソケット・トルクレンチ
- ☐ カッター・ニッパー
- ☐ 110psi（7.6kgf/cm²）対応のエアゲージ・ポンプ（エアコンプレッサー）

1 まずは動画を見ましょう

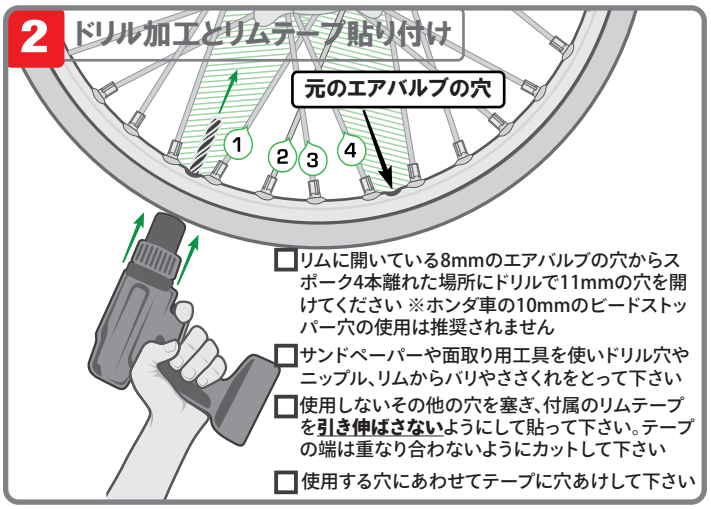
GO TO: **WWW.TUBLISS.COM**

解説動画や、TUblissのレビューを見ることが出来ます。（英語）

この製品はチューブタイヤの様に取り付けできません！動画を見て手順を把握して下さい

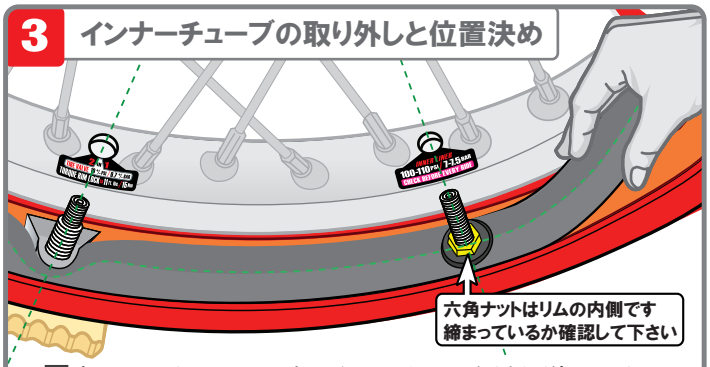
以下のQRコードからYOUTBE動画も確認できます

2 ドリル加工とリムテープ貼り付け



- ☐ リムに開いている8mmのエアバルブの穴からスポーク4本離れた場所にドリルで11mmの穴を開けてください ※ホンダ車の10mmのビードストッパー穴の使用は推奨されません
- ☐ サンドペーパーや面取り用工具を使いドリル穴やニップル、リムからバリやささくれをとって下さい
- ☐ 使用しないその他の穴を塞ぎ、付属のリムテープを**引き伸ばさない**ようにして貼って下さい。テープの端は重なり合わないようにカットして下さい
- ☐ 使用する穴にあわせてテープに穴あけして下さい

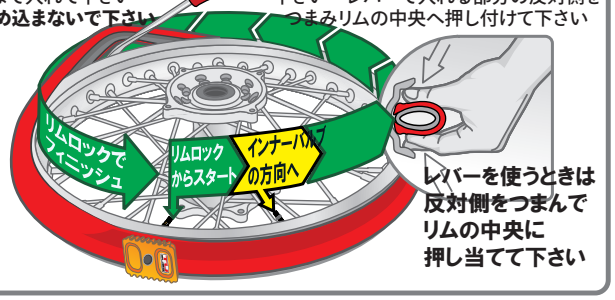
3 インナーチューブの取り外しと位置決め



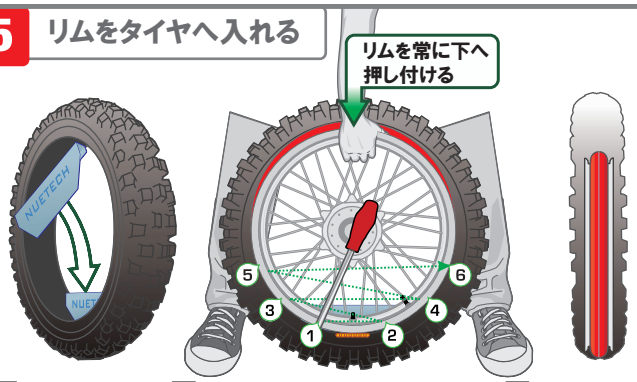
- ☐ 赤いチューブにシリコンスプレーやビードクリームをくまなく塗って下さい
- ☐ 赤いチューブからインナーチューブを取り外してバルブコアを外して下さい
- ☐ リムロックのエアバルブの中心と11mmの穴を合わせて下さい
- ☐ インナーチューブバルブを8mmの穴に合わせ赤いチューブに戻して下さい

4 Tublissの組込み

- ☐ リムロックのバルブを11mm穴に入れ、ナットを指で軽く締め込んで下さい　次にインナーチューブのバルブを8mm穴に入れ丸いナットをバルブの半分くらいまで入れて下さい
  ※**締め込まないで下さい**
- ☐ リムロックからインナーチューブのバルブの方向へTublissを組み始めて下さい
  ある程度まで手ではめたら、タイヤレバーがTublissの下をくぐるようにしてレバーの先をリムに掛け、レバーを起こしリムに入れて下さい　レバーで入れる部分の反対側をつまみリムの中央へ押し付けて下さい

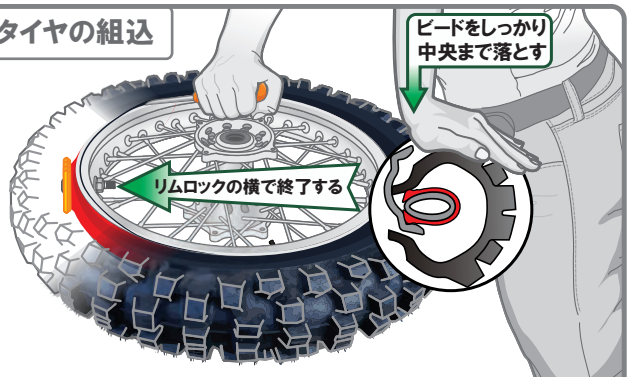


5 リムをタイヤへ入れる



- ☐ タイヤを立てて足の間に置き、後ろ側のビードにガイドプレートをつけて下さい
- ☐ リムロックが下になるようにしてリムをタイヤへ置き、リムを**常に下へ押しながら**下から交互にタイヤレバーでビードをリムの外に出します
- ☐ タイヤにリムがすっぽり入れば完了です

6 タイヤの組込



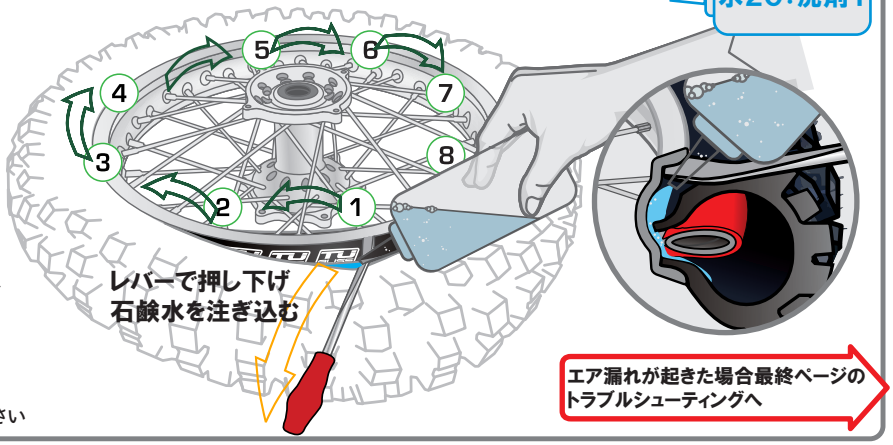
- ☐ リムロックの反対側から始めて下さい　手でビードがリムの中央まで来るように押し、ある程度まではめたらレバーで組み込んでいきます
- ☐ リムロックの隣くらいで終わるようにして下さい
- ☐ 裏返して同じように装着して下さい

7 石鹸水と最終的な組立て

石鹸水を使わずに組み立てる場合は次ページの"石鹸水を使わない場合"を参照して下さい　エア漏れを防ぐには石鹸水が最適です

気密性を確保するにはタイヤを組み終わったあとに石鹸水を塗布することが重要です

- ☐ リムロックの隣からビードをリムの中心くらいまで押し下げ石鹸水をリムとビードの間に吹きかけて下さい
  かけすぎるくらいが適量です
  スポーク4本につき1回を目安にして両面にかけて下さい
- ☐ タイヤを回しながらバウンドさせて石鹸水を赤いチューブの外側によく行き渡るようにして下さい
- ☐ バルブコアを取り付け、インナーチューブ（赤いキャップ）に110psi（7.7kgf/cm²）の空気を入れて下さい
  その後リムロック側のバルブ（黒または水色のキャップ）に0〜15psi（1kgf/cm²）の空気を入れて下さい
- ☐ バルブにキャップをつけ、インナーチューブ側の丸いナットをキャップに向かって締めて下さい
  リム方向へは締めないで下さい
- ☐ リムロックのナットを15N･m(1.5kgf･m)のトルクで締めて下さい



エア漏れが起きた場合最終ページのトラブルシューティングへ

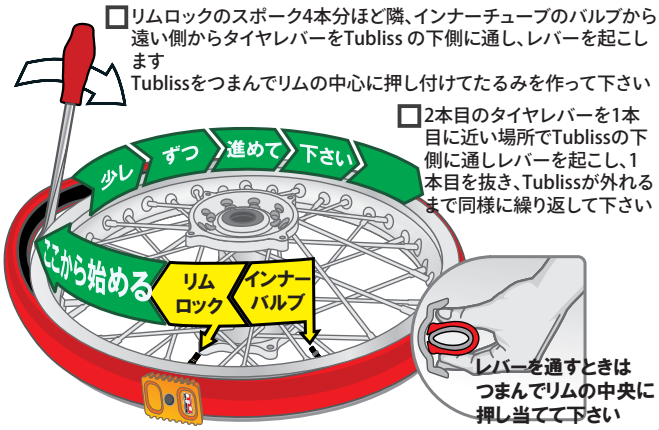
タイヤの取り外し

- ☐ バルブコア・ナット類を外します
- ☐ ビードをリムの中心まで落としリムロックの隣からビードを外していきます
  赤いチューブを引っ掛けないように注意してください
- ☐ 裏面も同様にビードを外します
- ☐ タイヤを押し下げ、リムを引き抜きます

※タイヤ交換の際は必ず赤いチューブの表面に傷がないか確認して下さい。また、リム・Tubliss・タイヤの内側をパーツクリーナーなどで洗浄して乾燥させてから作業して下さい。

Tublissの取り外し

- ☐ リムロックのスポーク4本分ほど隣、インナーチューブのバルブから遠い側からタイヤレバーをTubliss の下側に通し、レバーを起こします
  Tublissをつまんでリムの中心に押し付けてたるみを作って下さい
- ☐ 2本目のタイヤレバーを1本目に近い場所でTublissの下側に通しレバーを起こし、1本目を抜き、Tublissが外れるまで同様に繰り返して下さい



重要な情報とヒント

- バイク、タイヤのメーカーの指示を優先して下さい。
- Tublissはオフロード競技専用です。公道で使用しないで下さい。
- タイヤ選びは慎重に行って下さい。路面に適したタイヤを使用することでパンクのリスクを下げられます。
- タイヤチェンジャー類は使用しないで下さい。Tublissにダメージを与えます。
- 台座などを使うことは推奨されます。チェンジャーも台座部分のみならば使用できます。
- 新品のタイヤを使用するようにして下さい。中古タイヤ、特にビードストッパーの使用歴のあるタイヤはエア漏れの原因になります。再利用の際はパーツクリーナーなどで全てのパーツを洗浄し乾燥させて下さい。
- Tublissはリムではなく、ビードの内側に作用します。よってゆがみや傷のあるリムでも使用できます。
- バランス点について：いくつかのタイヤにはバランス点（黄色の点）がタイヤ側面に印されています。Tublissを使用する場合はリムロックの位置に合わせて下さい。
- タイヤレバーは割れなどで先端が尖っていないものを使用して下さい。使用した場合Tublissにダメージが生じエア漏れが発生刷る可能性があります。
- Tublissの赤いチューブ表面の毛はカットしたほうがエア漏れを防げます。
- ホンダ車の10mmのリムロック穴はTublissのリムロックの穴として使用できますが、エアバルブ穴からスポーク4本分離れた場所にある場合以外、使用は**推奨されません**。

各ステップごとのヒント *-You can also go to TUbliss.com for more installation tips & details.*

1 まずは動画を見ましょう

どんなタイヤ交換のプロでも正しいTublissの交換方法はたった一つです。必ずこの説明書とビデオを確認して下さい。もし何かわからないことがあればお気軽にお問い合わせ下さい。
また、必ず新品タイヤを使って下さい。市販のリムロック（ビードストッパー）を使用したタイヤはビードの内側にダメージが有る可能性があります。ビードの内側にダメージがある場合エア漏れの原因となりますので使用しないでください。

2 ドリル加工とリムテープ貼り付け

リムロック用の穴の位置は非常に重要です。交換中にインナーチューブにダメージを与える可能性を最小限に抑えます。スポークニップルやリムの内側はなめらかにして下さい。バリや傷がある場合インナーチューブがパンクする可能性があります。

3 インナーチューブの取り外しと位置決め
インナーチューブ・Tubliss・ビードの内側の全てにシリコンスプレーもしくはビードクリームをまんべんなく塗ることにより装着が容易になります。石鹸水でも可能ですが乾く前に作業を終わらせる必要があります。

4 Tublissの組込み
リムロックのナットはリムに少し当たる程度に指で軽くしめて下さい。
Tublissがリムに入りにくい時はリムに既に収まっている部分、特にレバーをかけた場所の反対側を指で挟んでリムの中央によく押さえつけて下さい

5 リムをタイヤへ入れる
リムを下へ抑え続けてることと、レバーの間隔を狭くすることが成功の秘訣です。
もしリムを押さえることをやめた場合リムが飛び出し、やり直しになる上に危険です。

6 タイヤの組込
レバーとレバーの間隔はできるだけ狭くして下さい。また、レバーを入れる側の反対側のビードをしっかりと押してリムの中心まで落として下さい。

7 石鹸水と最終的な組立て
この作業が一番重要です。あせらず時間をかけて行って下さい。石鹸水がTubliss表面をまんべんなくおおうようにして下さい。この過程は石鹸水が液体であること・乾くことを利用するのでビードクリームでは代用できません。リムロックのナットはしめすぎないように注意して下さい。破損の原因となります。

タイヤの取り外し
タイヤレバーでTublissをめくらないように気をつけて下さい。特に最初にレバーを入れる時に気をつけて下さい。タイヤを外したあとはTubliss・インナーチューブに傷がないか確認して下さい。

Tublissの取り外し
Tublissを取り外す際は正しい方法で行っている場合ほとんど力を掛ける必要はありません。もし外れにくい場合は、説明とビデオをよく確認して下さい。

Tublissをつけてライディングする際のヒント

・走行する路面に適したタイヤを選んで下さい。岩場を走行する際はデザートタイヤを装着することを推奨します。一部のソフトタイヤはサイドウォールが断裂する可能性があります。
・走行前に必ずインナーチューブに100psi（7kgf/cm^2）以上の空気が入っているか確認して下さい。エア漏れが発生したり、リムの保護機能が低下します。
・ゴムには通気性があるため、正しく組み付けてある場合でもTublissは少しずつエアが抜けていきます（1日に1psi（0.07kgf/cm^2）程度）。また、エアゲージで空気圧を測る際もエアは抜けます。必ず走行前に空気圧は確認して下さい。
・タイヤ自体が硬いタイヤであれば空気圧は下げやすく、柔らかいタイヤでは空気圧の下限は高くなります。通常のチューブを使用している時より2psi（0.15kgf/cm^2）程度低い空気圧が下限の目安です。
・タイヤがパンクした場合、市販のチューブレスタイヤパンク修理キットで応急処置が可能です。なるべく早く交換して下さい。また、Tublissがパンクした際は補修用インナーチューブをお買い求め下さい。

メンテナンス

・走行前に必ず空気圧は確認して下さい。Tublissの内部は高圧のため、自然に空気が抜けていきます。
・タイヤ交換の際は必ず赤いチューブの表面に傷がないか確認して下さい。また、**リム・Tubliss・タイヤの内側をパーツクリーナーなどで洗浄して乾燥させてから**作業して下さい。
・100走行時間または1年ごとにインナーチューブは交換して下さい。
・スポーク調整の際はtublissの空気を抜いて下さい。
・正しく使用し、メンテナンスされたTublissはバイクよりも長持ちします。

石鹸水を使わない場合

シリコンスプレーやビードクリームのみで組み上げる場合は、リムをタイヤに組む前にTublissの赤いチューブとビードの内側にシリコンスプレー・ビードクリームをよく塗って下さい。
リムをタイヤに組んだあと、タイヤをバウンドさせてタイヤの中でリムを回すことでよりタイヤの内側とTublissにシリコンスプレー・ビードクリームがまんべんなく塗布されます。

トラブルシューティング　エア漏れが起きる場合参照して下さい

始めに インナーチューブに100psi(7kgf/cm2)以上の空気が入っているか確認して下さい。

もしインナーチューブが少しずつエア漏れするなら

バルブコアがゆるいかダメージが入っている可能性があります。取り外し点検して下さい。まれにインナーチューブに微細な穴が開いている場合もあります。その場合はインナーチューブを交換して下さい。
また、構造上1日に1psi(0.07kgf/cm^2)程度ずつエアは抜けていきます。タイヤの空気圧が低い場合より早く抜けていきます。

もしインナーチューブがすぐに空気が抜けてしまう・空気が入らないなら

インナーチューブがパンクしています。新しい物に交換して下さい。また、パンクの原因となるようなものや、リムの突起がないか確認してから新しいチューブを取り付けて下さい。

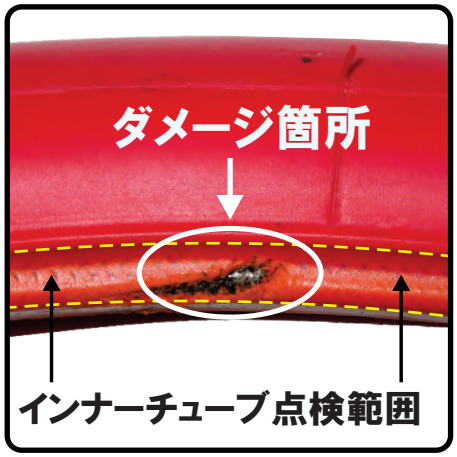
A. インナーチューブの空気圧が適正なのに組立て後すぐ空気が抜けてしまう。

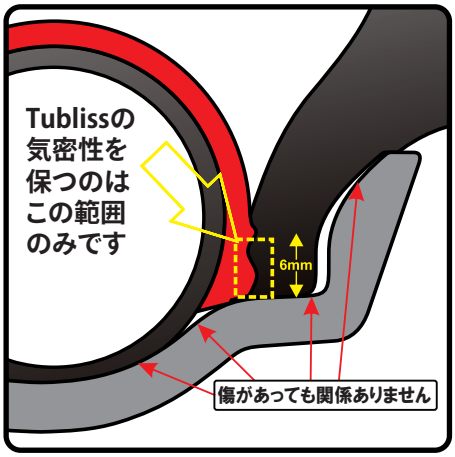
このような症状は通常Tublissの赤いチューブがよじれたりして正しくビードと接していないため発生します。または、インナーチューブに空気を入れる前にリムロックのナットをしめると発生します。以下の手順で修正して下さい。

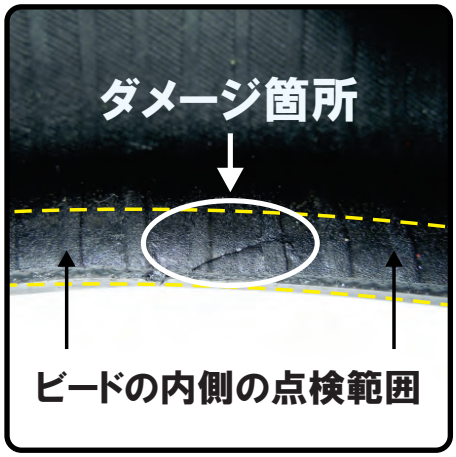
Tublissリセット　※この方法が使えるのは走行前のみです
このリセット過程によりエア漏れは99%直ると言っても過言ではないでしょう。タイヤを取り外しダメージを確認する前にかならず挑戦して下さい。
1. インナーチューブのバルブコアを取り外す
2. リムロックのナットをゆるめ、リム表面に軽く当たる程度のゆるさでしめる
3. 取付説明のステップ7"石鹸水と最終的な組立て"項目を再度行う

※もし石鹸水を使わず、シリコンスプレーなどで代用する場合タイヤを地面でバウンドさせて赤いチューブとビードの内側の間にシリコンスプレーなどがくまなく行き渡るようにしてください

Tubliss・ビードにダメージが入っている場合の確認方法
リセットをしてもエア漏れがおさまらない場合、Tublissまたはタイヤのビードの内側にダメージが入っている可能性があります。その場合タイヤを取り外し、以下の写真を参考に点検して下さい。もし赤いチューブにダメージが入っている場合新品に交換して下さい。ただし場合によっては強力接着剤やシリコンシーラントで補修できることが有ります。
タイヤのビードの内側は縁より6mmの範囲が対象です。もともと入っている凹凸は問題ありません。もしもともと入っている凹凸より深いキズや凹みがあった場合、エア漏れの原因となります。







B. インナーチューブの空気圧が適正なのに走行後空気が抜けてしまう。

タイヤがパンクした可能性があります。タイヤに軽く空気を入れたあと、全体に石鹸水を吹きかけて下さい。もしくはタイヤをまるごと水に入れて下さい。パンク箇所から泡が発生します。パンクの穴のサイズによっては市販のチューブレスキットパンク修理キットで補修して下さい。
パンク箇所が見つからない場合、**タイヤ内にゴミが入ったり赤いチューブがずれたりよじれたりした可能性があります。**
タイヤを取り外し、よく洗浄してから再度取り付けて下さい。

補修パーツについて

リムテープ　各サイズ　定価￥500(税抜き)
インナーチューブ　各サイズ　定価￥2,100(税抜き)
Tubliss取扱店にてお買い求めいただけます。

お問い合わせ

ご不明な点などございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

Tubliss　正規輸入代理店　株式会社starstrading
〒194-0004　東京都町田市鶴間4-10-35
Tel:042-795-9009　Fax:042-795-9008
email:info@starstrading.co.jp

starstrading　TUBLISS